



女子中高生に“腕時計”BABY-Gを着けたくさせる企画

## 企画の考え方

ターゲットである女子中高生にとってスマホが欠かせない  
ツールとなった現在、彼女たちが腕時計をメインで着ける機会は、

平日の学校生活であると考えました。

(スマホ使用はまだまだNGな場合が多いが、腕時計の着用はほとんどの学校で認められている)

また、今はSNSの台頭により、自己表現のツールが増えた分、

ファッションは自己表現の手段というより、

みんなに溶け込み、認められるためのコミュニケーション手段になっている

という仮説をたてました。

腕時計ひとつで尖りたいわけではなく、みんなとうまくやるためにどうするか。

こだわりをあからさまに表に出して、浮きたくはない。

周りの人とのコミュニケーションを円滑にするために、引かれないうために。。。

## 表現のポイント

女子中高生にとって大切な

デザインにはこだわりたいけど、目立ちすぎないこと。

BABY-G＝自分らしく学校生活に溶け込める時計であること。

そのことをシンプルに伝えるために、

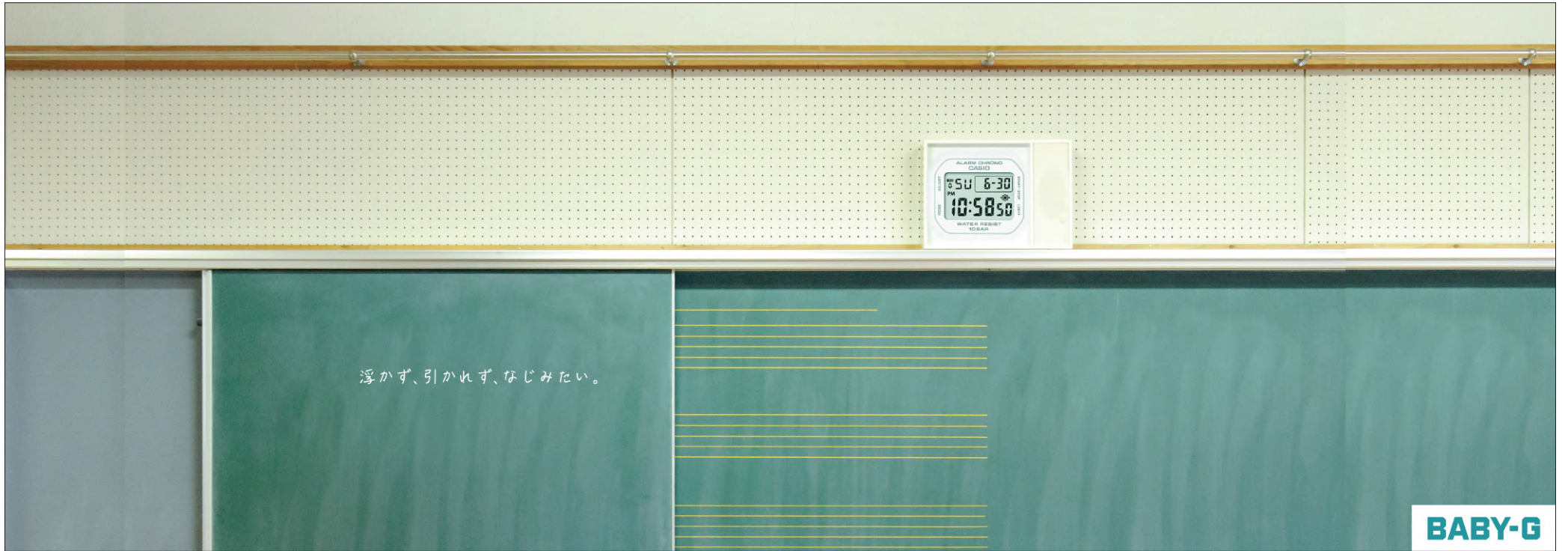
BABY-Gが学校生活のシーンの中で、馴染んでいる様子を  
描きました。

キャッチコピーは、そんな女子中高生の想いを代弁する言葉にすることで、  
彼女たちの共感を誘うコピーにしました。

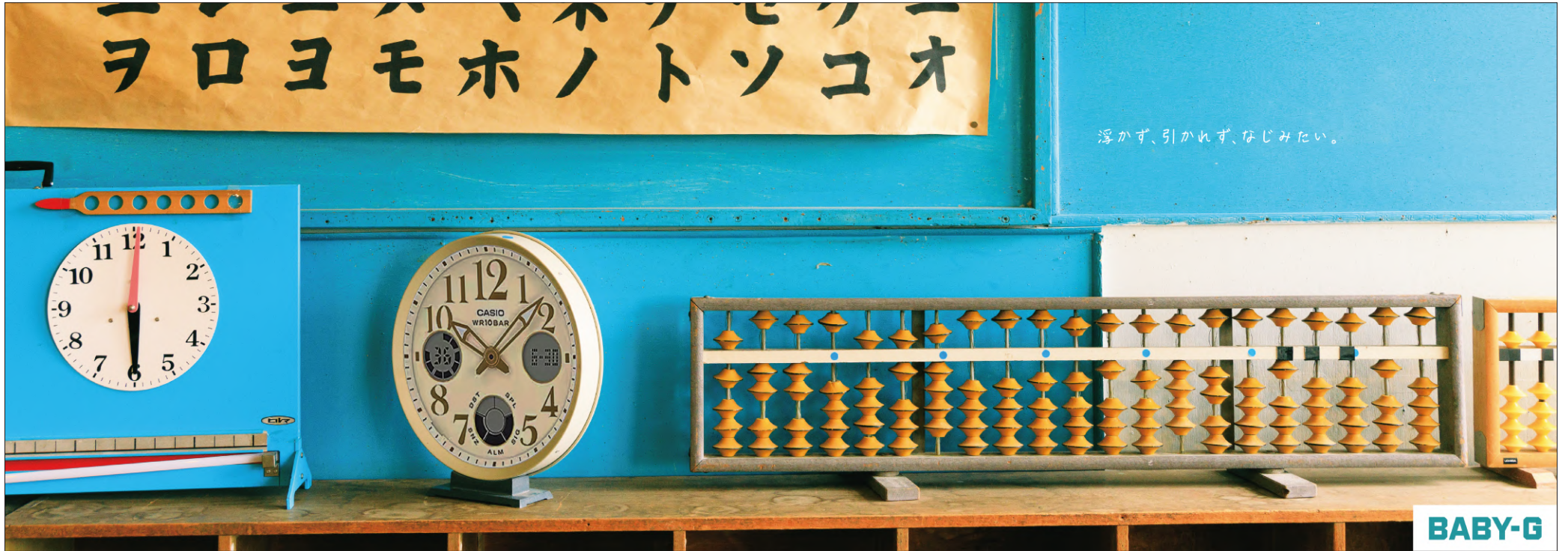
## ①校舎



## ②教室



### ③準備室



## ④ 体育館

